

た二人はホット溜息ためいきをついて草むらの上に尻もちをつきました。

上の小屋の持金もちがねの方が一寸いっすんほど多いことがわかりました。

にわかには曇った空を、はやなきの不如帰ほととぎすが血をはくような声で飛び去りました。小川のせせらぎが、さらさらと流れています。

しばらくのあいだヂットみつめあっていた二人の長者は、やがてどちらからともなくいざりよって手を握りあいつぶやきました。「つまらぬ事だなあ……。」

それからあと、二人の長者は、力をあわせて里の開発にうちこみました。

二人が出会ったところは里の真中まんなかだったので野上村字中組なかぐみと呼ばれ野上の里開発の中心となり本村もとむらというようになりました。

